



総研大ニューズレター

第112号 2017.11 発行

●目次

【今月のトピックス】

平成29年度秋季入学式を挙行

平成29年度後学期フレッシュマンコースを開催

平成28年度長倉奨励賞授賞式を開催

研究科合同セミナー

平成29年度「ROIS/I-URIC 若手研究者クロストーク」開催報告

学融合レクチャー開催報告

「南極隕石と惑星探査から探る太陽系—惑星物質研究の最前線」

「大統合自然史Ⅱ 生命・人類偏」

「大学教員を目指す人のための教育の方法・技術」

地域文化学専攻・比較文化学専攻 オープンキャンパスを開催

日本文学研究専攻 入試説明会&特別講義

総務課

学融合推進事務局

学生厚生係

情報学専攻・准教授 山岸順一

学融合推進センター・助教 小松睦美

高エネルギー加速器科学研究所 鎌田進

学融合推進センター・助教 菊地浩平

地域文化学専攻・比較文化学専攻

日本文学研究専攻

【受賞・学生プレスリリース情報】

学生受賞2件、教員受賞6件

【イベント情報】

11月イベント

1日

情報学専攻 大学院説明会

2日

統計科学専攻 大学院説明会

3日

先端科学研究科 第20回学術講演会

11日

基礎生物科学 オープンキャンパス・大学院説明会

13日-15日

学融合レクチャー「プロジェクトマネジメント概論」

18日

生命共生体進化学専攻 講演会・説明会

29日

I-URIC/4 機構連携 男女共同参画シンポジウム

※募集期間中の学融合レクチャーは、レクチャー情報(p.13)でご確認ください。

【今月のトピックス】

● 平成29年度秋季入学式を挙行

10月10日(火)に平成29年度秋季入学式が行われ、13カ国、50名の入学者を迎えました。式典では、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ、入学許可されました。最後に、学長より式辞があり、出席者は新しい環境のもとで研究することに対して、緊張感をもって聞き入っていました。

なお、地域別入学者の内訳は以下の通りです。アジア(9カ国)46名(日本含む)、中東(1カ国)1名、欧州(2カ国)2名、アフリカ(1カ国)1名。



秋季式挨拶の様子

【総務課】

● 平成 29 年度後学期フレッシュマンコースを開催

平成 29 年度秋季入学式の後、10 月 10 日から 13 日の 4 日間で平成 29 年度後学期フレッシュマンコース（FC）が開催されました。今回は例年よりも多く 47 名の新入生・在学生在が受講しました。また、学生セミナー実行委員（学生委員）の在学生在、各研究科からの FC 担当教員などの先生方、先導科学研究科及び学融合推進センターの教員が参加しました。また、この秋は韓国の University of Science and Technology（科学技術聯合大学院大学）（以下、UST）から教職員 6 名が来訪し、FC を見学しました。

FC は「知のフロンティア」「学生セミナー」「研究者と社会」「研究者のための「伝える技術」」の 4 つのプログラムで実施されています。なお、後学期は英語で開催され、参加学生もほとんどが外国人留学生でした。

1 日目の「知のフロンティア」では、総研大修士で国立天文台・特任助教である片岡章雅氏による 1 時間の講演が行われました。講演を通して、留学生にとっても日本人学生にとっても新しい考え方に触れられる機会になったかと思えます。また、片岡氏の講演は学生たちがこれからのキャリアを考える上で、一つのモデルケースになったのではないかと思います。

続いて、「学生セミナー」“第 1 部 アイスブレイク”では、学生たちはグループにわかれ自己紹介や「Living in Japan as a Foreign Graduate Student」をテーマにディスカッションを行いました。学生セミナーには、学長・理事・各研究科長も参加しました。普段、接する機会のない先生方とディスカッションをすることは学生たちにとって良い刺激になったのではないのでしょうか。



学生委員、教員とディスカッションをする学生たち



講演者の片岡章雅氏

1 日目の終わりに懇親会が開かれ、UST 教職員 6 名の紹介が行われました。懇親会では、新入生同士だけでなく、新入生と参加教員や先輩学生ともざっくばらんに会話する様子が見られ、交流を深めていました。

2 日目は「学生セミナー」の“第 2 部 研究紹介”、「研究者と社会」の“第 1 部 研究倫理”でした。「学生セミナー 研究紹介」

では、学生委員による各研究科の紹介や各専攻の面白さがプレゼンテーションされました。

「研究者と社会」では、新入生が「最良の研究者像」についてワークショップ（以後、WS）を行い、各自で付箋紙に最良の研究者には何が必要かを箇条書きにし、各グループ内で議論しポスターをまとめ、その結果を発表しました。次に、講師から研究における不正行為等の研究倫理についての講義が行われた後、新入生は各自の研究分野で生じる不正とその対策について、「ショートエッセイ」を作成しました。

3 日目は「研究者と社会」の“第 2 部 研究の社会史”と“第 3 部 科学コミュニケーション”が行われました。“研究の社会史”では、現在の研究者とその研究活動を特徴付ける要素に着目しながら、研究者やその支援体制が登場してきた背景や、研究者と社会との関係性の歴史の変遷について、19 世紀頃からの研究（者）に関する科学史が語られました。“第 3 部 科学コミュニケーション”では、遺伝子組換え（GM）作物の野外栽培実験を巡る社会問題を題材に WS を行いました。新入生が研究者グループと農業関係者グループに分かれ、それぞれの利害について意見を出し合い、「研究者」として社会に伝えるべきメッセージは何か、異なる立場のそれぞれの価値観を理解するとは何か、など科学コミュニケーションについて学びました。グループ発表では、活発な質疑応答が行われていました。



研究者と社会の授業でポスターを作成する学生



学生から質問に答える
フィンレイ先生(写真中央)

4日目の「伝える技術」では、“Scientific Writing”と題して、英語でのライティングについて学びました。生命共生体進化学専攻 Finlay Stewart(フィンレイ・スチュワート)助教による講義に基づき、二人一組のペアワークを中心とした Editing WSを行いました。出された課題の推敲を行っている間はとても静かでしたが、それぞれの推敲について話し出すと、お互い熱心に意見しあっている姿が見られました。

次の Scientific Presentation では、国立遺伝学研究所 URA の広海健本学名誉教授の講義が行なわれました。学生は、講義を通して、科学プレゼンテーションの目的や全体の組み立て方、発表の流れや内容を理解しやすくするコツなどを学びました。

4日間の合宿のスケジュールでしたが、連絡先を交換している様子が見られ、学生達が仲良くなるには十分だったように思われます。後学期は前学期と違い英語での実施ということもあり、参加学生も国際色豊かで、異分野交流に加え、異文化交流もできたのではないかと思います。授業内容については、学生からは概ね肯定的なアンケート結果でしたが、今後も意見を受けて、改善されていく予定です。

新入生の皆様には各専攻での研究、日本での生活と新しいことが多く待ち受けているかと思いますが、今回出会った仲間との交流をこれからも大切にしていだければと思います。今後、益々のご活躍を祈念しております。最後になりましたが、本プログラムにご尽力いただいた各専攻及び葉山の先生方に御礼申し上げます。



【学融合推進事務局】

● 平成 28 年度長倉奨励賞授賞式を開催

9月27日(水)に、第22回長倉研究奨励賞の最終候補者5名による研究発表会(最終審査会)が学融合推進センター棟1階で行われました。翌28日(木)に、選考委員会の後、共通棟3階会議室で授賞式が行われ、情報学専攻の北村大地さんと、基礎生物学専攻の松田隆志さんの2名に長谷川学長から長倉研究奨励賞の賞状及び副賞が授与されました。また、その他の最終候補者の3名には、授賞式にて、長谷川学長から総合研究大学院大学研究賞の賞状が贈られました。

受賞者一覧

○長倉研究奨励賞

北村 大地 複合科学研究科 情報学専攻

研究テーマ 非負値行列因子分解に基づくブラインド及び教師あり音楽音源分離の効果的最適化法

松田 隆志 生命科学研究科 基礎生物学専攻

研究テーマ 水分欲求と塩分欲求を制御する脳弓下器官における神経機構

○総合研究大学院大学研究賞

糸 汐里 文化科学研究科 日本文学研究専攻
研究テーマ 中・近世語り物の形成と享受に関する研究

橋谷田 俊 物理科学研究科 構造分子科学専攻
研究テーマ ナノ空間のキラル電磁場制御と高感度分子キラリティ検出

嶋川 里澄 物理科学研究科 天文学専攻
研究テーマ 110億光年彼方の原始銀河団における大質量銀河の形成現場



(左から) 糸氏、橋谷田氏、嶋川氏、北村氏、松田氏

【学生厚生係】

研究科合同セミナー

● 平成29年度「ROIS/I-URIC 若手研究者クロストーク」開催報告

平成29年度「ROIS/I-URIC 若手研究者クロストーク2017」を9月21日～22日に長野県の信州松代ロイヤルホテルにて開催しました。これは、大学共同利用機関法人4機構連携企画として、情報・システム研究機構が主催し実施しているもので、今年で13回目の開催になります。4機構から合計52名の参加があり、その内、総研大からも11名の参加がありました。

このイベントは、将来活躍が期待される次世代の若手研究者や博士学生に、自分自身の普段の研究分野とは異なる分野で研究を行っている同世代の研究者との繋がりを持たせ、新たな共同研究や融合研究のシードを探しあうことを目的に、合宿形式で行っている討論会です。異分野を理解し、新たな視点を導入することは、時として、自身の研究を遂行する上でも大きな意義を持つ



ワールドカフェの様子

ことがあります。本年度は「異分野がもたらすブレイクスルー」をテーマに、すべてのプログラムを英語で行いました。

1日目は、国立極地研究所と統計数理研究所の研究者から分野融合研究に関する講演が行われ、その後、参加者全員によるポスターセッションを行いました。また、情報・システム研究機構長藤井教授による講演も行なわれ、融合研究に対する理念、若手研究者に期待していることを説明され、その後、若手研究者や博士学生と直接の議論が行われました。

2日目は、「異分野融合研究」と「若手研究者／学生が抱える悩み」について、ワールドカフェ形式

で討論を行い、熱心で真剣な意見が交わされました。総研大博士学生が抱える悩みをポスドク研究員や助教の先生がアドバイスするなど、貴重な意見交換の場になったと思います。午後には国立情報学研究所と国立遺伝学研究所の研究者から講演があり、閉会となりました。

今回は外国人学生および外国人研究者の参加がこれまで以上に多く、国際的な観点からも議論がなされ、若手研究者の交流と異分野理解を行なう場として相応しい内容となりました。1日目の深夜まで議論を続けるグループもいくつかあり、参加者からも、異分野の研究者と出会えた、とても有意義だった等の感想が寄せられました。



会場となった信州松代ロイヤルホテルにて

【情報学専攻・准教授 山岸順一】

学融合レクチャー開催報告

● 南極隕石と惑星探査から探る太陽系－惑星物質研究の最前線

太陽系の進化の解明を目的として、「かぐや」「はやぶさ」探査をはじめとした様々な惑星探査が行われてきました。また日本は活発な南極探査を実施し、世界有数の隕石保有数とキュレーション施設を有しています。これらの探査から得られた、惑星物質研究の最先端の成果について学ぶことを目的とし、学融合レクチャー「南極隕石と惑星探査から探る太陽系：惑星物質研究の最前線」を開講しました。

9月7日の初日は国立極地研究所にて、2日目の9月8日にはJAXA宇宙科学研究所にて講義を行い、総研大生6名、他大学生3名、教員10名の合計19名の参加がありました。

初日には、「南極隕石から学ぶ太陽系科学」をテーマとし、「太陽系形成から始原的な小惑星までの進化」「分化した小惑星への進化」の講義を行いました。なぜ南極で隕石探査をするのか、また隕石探査から得られた成果について、太陽系の進化のタイムスケールと共に学びました。



隕石キュレーション実習での作業の様子

南極北極館の見学では、隕石探査を含む全般的な南極探査について学び、その後の隕石キュレーション実習では、隕石の表面研磨とエッチング実験を行いました。数千万年以上の冷却期間を経て成長したと考えられる隕鉄のウィッドマンシュテッテン構造を観察し、隕石と小惑星の関連について実感したようです。講義終了後は、夕食を囲みつつ、宇宙探査についてのワークショップを行いました。受講学生の研究テーマについての発表紹介を元に、宇宙探査への展開の可能性について議論を行い、参加者同士の交流も盛り上がりしました。

2日目は、会場をJAXA宇宙科学研究所に移し、「惑星探査」をテーマとした授業を行いました。午前中には「月探査について」「火星・彗星探査について」の講義を行い、午後は

宇宙科学研究所の施設見学として、超高速衝突実験装置、宇宙探査実験棟の見学を行いました。宇宙探査実験棟では、月・惑星の表面に模した壮大な実験施設を見学し、アポロ探査以来止まっている、着陸での月探査が再び現実味を帯びていることを実感できる良い機会となりました。その後の「太陽系小天体・はやぶさ探査について」の講義とキュレーション施設見学では、はやぶさ探査機が持ち帰った粒子のピックアップ作業や保管の技術、分析して得られた成果について学びました。

本レクチャーでは、本学で実際に行われている研究・成果についての知識を得ることを目的としました。今回の受講者は理系の学生が多かったため、受講者それぞれの専門研究と惑星科学の手法では共通する部分もあり、関連分野を学ぶ良い機会となったと思います。またワークショップを通じ、学生同士のネットワークを広げることも出来たようです。今後、この講義で得た知見が、それぞれの受講生の研究に活かされることを期待しています。

最後に、ご協力いただいた、国立極地研究所 南極隕石ラボラトリ、南極・北極科学館、JAXA 宇宙科学研究所 地球外試料キュレーションセンター、超高速衝突実験施設、宇宙探査イノベーションハブの方々にお礼を申し上げます。



JAXA 宇宙研究所での集合写真

担当教員：東京大学大学院理学系研究科 三河内岳、国立極地研究所 小嶋智子、JAXA 宇宙科学研究所 佐竹渉、極域科学専攻 山口亮、今榮直也、宇宙科学専攻 安部正真、春山純一、総研大葉山 小松睦美、七田麻美子（以上 敬称略）

【学融合推進センター・助教 小松睦美】

● 大統合自然史Ⅱ 生命・人類編

7月25日の遠隔授業を皮切りに、「大統合自然史Ⅱ（生命・人類編）」を実施しました。宇宙の始まりから今日まで、人類を含む全自然界で生じた森羅万象を歴史的に認識・理解する試みを通じ、自身の専門分野を学問的社会的に位置付け俯瞰することを目指す大統合自然史の後半部の試行です。総研大生3名が参加しました。実施した授業の概略を以下で紹介いたします。

7月25日（火）TELAS 配信による遠隔授業
ガイダンス「大統合自然史の概要紹介、課題図書と事前レポート課題提示、総合案内など」鎌田進（総研大/KEK）、七田麻美子（総研大）



JT 生命誌研究館における中村先生講義風景

9月13日（水）JT 生命誌研究館：講義と展示見学、スペースアルファ神戸：ワークショップ



JT 生命誌研究館における展示見学の様子

講義「宇宙・地球・生命・人類を貫く時間軸」伊村智（極地研）
 講義「生命誌一内から創る新しい知」中村桂子（JT 生命誌研究館）
 展示見学「JT 生命誌研究館」研究館スタッフ
 講義「ヒトの行動を生み出す「脳」の理解：モデル生物を用いた研究」岩里琢治（遺伝研）
 ワークショップ「自身の専門分野を時間軸上に位置付け、他分野と共通する直交軸を探る」七田麻美子、菊地浩平（総研大）

9月14日（木）国立民族学博物館：講義と展示活用ワークショップ

講義「文明の転換点における博物館」吉田憲司（民博）
 講義「古代文明の生成過程に関する理論的転回：南米アンデス地域を中心に」関雄二（民博）
 講義「文化人類学と民博展示理念」久保正敏（千里文化財団）
 ワークショップ「通文化的にみた人類の活動の多様性・一斉性を考える」久保正敏

9月15日（金）スペースアルファ神戸：講義とワークショップ

講義「人類の進化と Homo sapience の特殊性」長谷川真理子（総研大）
 講義「地球の限界・人間の限界 未来に楽しく背を向ける」阿部健一（総合地球環境学研究所）
 ワークショップ「受講生・教員共々に総合討論：大統合自然史と人類の可能性」鎌田進、菊地浩平、七田麻美子

理系・文系分野を横断する「大統合自然史」の授業実施を通じ、個別専門分野を糾合する大きな学問体系の存在とその根源的魅力に触れることができました。受講生諸氏も将来、内なる思いに耳を傾けることで、既存分野の枠組みを脱し自由に研究を構築する勇気を生む経験をするのでしよう。

最後になりましたが、熱心な受講生諸氏、親身にお世話頂いた機関関係者そして献身的に尽力された講師や参加教員の方々に対し、深い感謝の念に堪えません。この紙面を借りて、心より御礼申し上げます。

【高エネルギー加速器研究機構/総研大名誉教授 鎌田進、
 学融合推進センター准教授（当時）七田麻美子、学融合推進センター・助教 菊地浩平】

● 大学教員を目指す人のための教育の方法・技術

9月21日（木）から23日（土）にかけて、飯田市にて学融合レクチャー「大学教員を目指す人のための教育の方法・技術」の集中講義が実施されました。

本レクチャーは教育方法論・授業論を学び、自らの研究成果を効果的に教授していくための知識・技術・態度を身につけることを目的としたレクチャーです。

授業設計は7月から10月の4ヶ月間を使ったプロジェクトベース学習としました。そのプロジェクトとは、飯田市の市民の方を対象とした授業実践を行うことであり、これが本レクチャーの最大の特徴です。集中講義初日は、教育方法論・授業論を座学で学んだ後、市民講座を受講してくださる飯田市の方の背景を知るため、飯田市全面協力のもと、飯田市企画課の方や飯田



学生による授業実践の様子

市企画課の方や飯田

OIDE 長姫高校の高校生の皆さんから飯田市の魅力や地域人教育について学ぶ機会を得ました。

二日目には、授業のリハーサルが行われました。授業をすることは普段行う研究発表とは勝手が違う、教材としての研究コンテンツの再構成に戸惑う様子もちらほら見られました。レクチャー講師陣や参加学生同士の指摘を受け、それぞれの課題に取り組みました。本番に備え、準備は夜遅くまで続いたようです。

そして本番の三日目、20人近くもの方が会場に足を運んでくださいました。いざ授業が始まると、リハーサルとは比べものにならないほど、素晴らしい授業が行われました。

参加された飯田市のみなさんの真剣な眼差し、そして活発な質問が飛び交い、レクチャー講師陣は短期間で成長した学生の姿に感動しっぱなしでした。

なお、本授業は中日新聞および南信州新聞からの取材を受け、それぞれ紙面に掲載されました。総研大の教育活動、地域連携活動の良いアピールになったのではないかと思います。

【学融合推進センター・助教 菊地浩平】

● 地域文化学専攻・比較文化学専攻 オープンキャンパスを開催



説明を真剣な眼差しで聴く参加者たち

9月21日(木)、国立民族学博物館において、平成29年度総合研究大学院大学文化科学研究科地域文化学専攻・比較文化学専攻のオープンキャンパス(入試相談会)が開催されました。民博でのオープンキャンパス開催は、平成12年度に始まり、今回で19回目を迎えます。海外からの方も含め、15名が参加されました。

午後からの入試相談会は、開会挨拶に始まり、大学院と民博の概要、大学院の教育内容や入試などについて地域文化学・比較文化学の両専攻長からの解説があった後、質疑応答を行いました。参加者は真剣な表情で説明に聞き入っており、進学を想定した具体的な質問も多く、活発な質疑応答となりました。

今回は平日に開催しましたので、図書室や院生室などの施設も、院生らが多くいる日常の環境のなかで案内することができました。また、参加者の希望に基づき、日程調整ができた方には、教員との個人面談の機会を4組設けることができました。

その後、参加者と在學生を対象とした修了生による講話があり、今回は平成17年度地域文化学専攻入学の宮脇千絵氏(南山大学人文学部准教授)にお話し頂きました。民博でどのように学生生活を送っていたのか、また博士の学位を取得するまでの苦労話などの貴重な体験を語られ、参加者からも好評でした。

交流会では、参加者と教員・在學生との歓談の時間を設けました。参加者からは、実際にキャンパスを訪れ、教員や学生と交流することで得られた情報も多く、大変参考になったという意見が寄せられています。

【地域文化学専攻・比較文化学専攻】

● 日本文学研究専攻 入試説明会&特別講義

10月7日(土)に、国文学研究資料館(立川市)において、日本文学研究専攻の入試説明会を開催しました。落合専攻長による日本文学研究専攻の概要説明のほか、入試についての説明、施設案内などを実施しました。施設案内では、普段は国文研教職員と総研大学生しか立ち入ることができない書庫の紹介もあり、参加者からは「研究を行うのに大変恵まれた環境であることがわかった」との感想



入試説明会「専攻概要の説明」

が出されました。また、毎年好評の、在学生との懇談会や指導を希望する教員との相談会については参加者が納得いくまで時間を延長して対応を行いました。

当日は、日本文学研究専攻の平成 29 年度第 1 回特別講義も同時開催され、修了生の一戸渉 氏（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 准教授）による「近世の学芸と文学」の講義が実施されま



一戸渉 氏による講演の様子

した。最先端の情報も豊富な講義の内容に、教員からも多数の質問が出され、質疑応答の時間が延長されるほどの盛況ぶりでした。また、聴講者には入試説明会の参加者や現役学生も含まれていたことから、修了生ならではの後輩へのメッセージ、研究機関として魅力ある国文研で研究できることの意義、アットホームな環境で親身になって指導を行ってくれる日本文学研究専攻の教員について等のコメントもあり、参加者からは「現在活躍されている修了生の話を通じて直接聞くことができ、さらに入学への意欲が湧いた」等の感想も出されました。

【日本文学研究専攻】

受賞

○物理科学研究科 構造分子科学専攻 須田理行 助教

「平成 29 年度分子科学研究奨励森野基金」を受賞。

受賞業績：「界面フォトクロミック分子の双極子変化を利用した伝導性・磁性の光制御」

賞の概要：森野基金は故森野米三先生の寄付により始められた基金で、将来性のある分子科学の研究者の発展を期待して、研究者に助成金が交付される

○複合科学研究科 統計科学専攻 河村優美さん（吉田亮研究室）学生

小山慎介 准教授

吉田亮 教授

第 6 回生命医薬情報学連合大会（IIBMP 2017）において、「研究奨励賞」を受賞。

受賞研究：「Inverse prediction for transcription elongation rates with total RNA sequencing」

○複合科学研究科 極域科学専攻 本吉洋一 教授 他

日本鉱物科学会の「第 18 回論文賞」を受賞。

論文タイトル：「Ti-in-garnet thermometer for ultrahigh-temperature granulites.」

掲載誌：Journal of Mineralogical and Petrological Sciences(JMPS), 111-3, 226-240 (2016).

論文 URL：https://www.jstage.jst.go.jp/article/jmps/111/3/111_150709/_article

著者：川崎智佑、本吉洋一

○複合科学研究科 情報学専攻 井上克巳 教授 他

国際会議 KSEM 2017 で「Best Paper Award」を受賞。

受賞論文：「Linear Algebraic Characterization of Logic Programs」

受賞者：坂間 千秋（和歌山大学）、井上 克巳（国立情報学研究所）、佐藤 泰介（産業技術総合研究所人工知能研究センター）

○複合科学研究科 情報学専攻 CHEUNG GENE (ジョン ジーン) 准教授 他

IEEE International Conference on Image Processing (ICIP) で「Best Student Paper Award (First Prize)」を受賞

受賞論文：「Pre-demosaic Light Field Image Compression using Graph Lifting Transform」

受賞者：Gene Cheung 他



- 生命科学研究科 遺伝学専攻 Harsh Nagpal さん（荒木研究室）学生「森島奨励賞」を受賞。

賞の概要：総研大遺伝学専攻で優秀な研究成果を発表して学位を取得した学生に、その研究内容を称えとともに今後のさらなる発展を促す目的で贈られる。



左から Nagpal さん、桂専攻長

- 生命科学研究科 遺伝学専攻 村山泰斗 准教授

日本遺伝学会第 89 回大会（岡山開催）において「日本遺伝学会奨励賞」を受賞。

受賞研究：「コヒーシンによる姉妹染色体接着の制御機構に関する研究」

Molecular regulation of sister chromatid cohesion by the cohesin ring complex

賞の概要：日本遺伝学会奨励賞は、遺伝学の特定の分野ですぐれた研究を活発に行い将来の成果が期待される会員に授与される。

イベント情報

- 情報学専攻 大学院説明会

日 時：平成 29 年 11 月 1 日(水) 18:00-20:00

場 所：東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 国立情報学研究所(学術総合センタービル) 19 階会議室

内 容：情報学専攻の概要、出願方法、学生生活の紹介、個別相談会

申 込：申込受付終了

U R L：<http://www.nii.ac.jp/graduate/entrance/guidance/>



- 統計科学専攻 大学院説明会

日 時：平成 29 年 11 月 2 日(木) 14:00-16:00

場 所：統計数理研究所(立川) 2 階 会議室 1 (〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3)

内 容：入試ガイダンス、カリキュラムの説明、学生による学生生活と研究テーマの紹介、入学希望者の個別相談、研究室訪問など。

※事前申込は不要です。

詳細は、下記の URL をご覧下さい。

<http://www.ism.ac.jp/senkou/setsumeikai.html>

- 先導科学研究科 学術講演会(第 20 回)

日時：平成 29 年 11 月 3 日(金) 10:00-12:00

場所：葉山キャンパス 2 階講堂

内容：「ヴェールの向こう側—科学は我々に何を教えるのか」

(助教 大西勇喜謙)

「キューバに住むならどこに住む？」

—アノールトカゲの多様性と生息地選択」

(特別研究員 赤司 寛志)

※事前申込不要、入場料無料、駐車場あり

U R L：<http://www.soken.ac.jp/event/20170912gakujutsu/>



- 生命科学研究科 基礎生物学専攻 オープンキャンパス・大学院説明会

日時：平成 29 年 11 月 11 日(土) 13:00-17:30 (受付 12:30~)

場所：基礎生物学研究所 明大寺地区

内容：専攻・入試・授業等カリキュラムの説明、研究室紹介(大学院生募集の各研究室 3 分ずつ)

説明)、総研大生の生活について、部門・研究室見学(3ヶ所程度)
U R L : <http://www.nibb.ac.jp/graduate/>

○2017年先導科学研究科 生命共生体進化学専攻 講演会・説明会

日時:平成29年11月18日(金) 13:00-17:00

場所:御茶ノ水トライエッジカンファレンス 会議室 11階

内容:2部構成(第1部 講演、第2部 専攻説明、カリキュラム・入試説明、専攻教員による最新の研究紹介)

講演:「生命共生体進化学専攻における研究の最前線」

- ・「定住・ドメスティケーション:人類史における転換期」(准教授 本郷一美)
- ・「植物の遺伝子領域で観察されるDNAメチル化は2005年に発見されたが、その機能と存在意義は未だ明らかになっていない」(助教 宅野将平)
- ・「ヴェールの向こう側-目に見えないモノについて知ることはできるか」(助教 大西勇喜謙)

※事前予約は不要。

U R L : <https://www.soken.ac.jp/event/20171118sendou/>

<シンポジウム・国際会議情報>

○I-URIC/4 機構連携 男女共同参画シンポジウム

日時:平成29年11月29日(水)

場所:人間文化研究機構 国立国語研究所 講堂(立川)

(〒190-8561 東京都立川市緑町10-2)

参加費:無料

使用言語:日本語

対象:総研大正規生(休学中の学生を除く)

※教員の方は、ご所属の機構の担当窓口(男女共同参画推進室など)にお問い合わせください。

プログラム

第1部 13:00-14:00

Gender Summit 10 (GS10) の報告 問題提起

講演1 渡辺美代子(科学技術振興機構副理事、GS10 Chair)

「(仮)受け入れるダイバーシティから発信するダイバーシティへ」

講演2 ルディビーヌ・アラニヤ(エルゼビア・ジャパン)

「(仮)研究からみる男・共同参画の現状、本への課題」

第2部 14:15-16:15

男・共同参画の視点での研究環境の在り・について

～GS10 WG4によるダイバーシティ推進に係る評価指標の提～

講演1 藤井良・(ROIS機構・Gender Summit 10 WG4 Chair)

「ワーキンググループ4報告」

講演2 有賀早苗(北海道大学教授)

「GS10参加者から見たWG4の成果、今後への期待」

パネルディスカッション(各機構からの話題提供者)

「各機構の男女共同参画推進の取組み」

第3部 16:30-18:00 (Closed Session)

研究環境改善に向けた4機構の研究現場の声、意・交換

お申し込み方法:

下記URLから「学生参加申込書」をダウンロードし、期日までにお申し込みください。

U R L : <https://www.soken.ac.jp/event/20171129/>

(【参加者募集】I-URIC/4 機構連携 男女共同参画シンポジウムについて)

※詳細な申込方法、申込先についてはwebページにてご確認ください。



○総研大文化フォーラム 2017 文化をくはかる>—文化科学へのまなざし—

日時：平成 29 年 12 月 2 日(土)–3 日(日)

場所：国立歴史民俗博物館（〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117）

(<https://www.rekihaku.ac.jp/information/access.html>)

[開催趣旨]

〈はかる〉という日本語は、理数的な意味での「測る」の他、「図る」、「諮る」など、多様な意味を持っています。私たちが所属する文化科学研究科は、歴史学、文学、文化人類学、民俗学、考古学など多様な学問領域を包摂しており、それぞれに異なる問題関心、対象、方法のもとに研究を行っています。

昨年度より総研大全学事業として再出発した文化フォーラムは、文系のみならず理系の研究者も参加する学融合の場でもあります。したがって、ここではスタンスの異なる研究者たちがそれぞれのものの見方・考え方について、意見を「諮る」ことが可能となるでしょう。

歴博の魅力を活かした企画を盛り込みつつ、研究科の垣根を越えた、実り多い交流の機会となるよう準備を行っております。多くの方々のご発表、ご参加を心よりお待ちしております。

(開催趣旨より一部抜粋)

[実施プログラム(予定)]

12/2(土) 13:30 開会式

13:45 シンポジウム 文化と知を「はかり」「つなげる」
—総合資科学という試み—

(講師：後藤 真・橋本 雄太(歴博) 他)

15:30 ポスター発表

17:30 懇親会

12/3(日) 9:30 口頭発表

11:30 閉会式

11:40 休憩(総合展示見学可)

13:30 歴博ツアー(展示解説、施設見学)



参加資格：総研大学生、教職員及び参加を希望し文化科学研究科が認めた者。

※学生の場合、本フォーラム参加について指導教員へ事前報告が必要。

参加登録期間：聴講参加申込は既に締め切りました。

旅費・参加申込方法などの詳細については、下記 URL をご覧下さい。

<https://www.soken.ac.jp/event/bunkaforum2017/>

○世界天文コミュニケーション会議 2018 in 福岡

日時：平成 30 年 3 月 24 日(土)–28 日(水)

場所：福岡市科学館(福岡市中央区六本松 4-2-1 六本松 421 内)

概要：

世界天文コミュニケーション会議(CAP)は、天文学に携わる総ての人と一般社会とのコミュニケーションに関する最近の取り組みについて、様々な意見や経験を交換する場として、2005年に設立された国際会議です。この会議を通じて、効果的で実績のある数多くの科学コミュニケーション事例が紹介されています。(プログラムは基本的に英語で進行)

CAPで得られる知見を参加者が母国に持ち帰ることで、各国における天文学・天文科学文化の発展、市民参加の推進などが期待され、すべての参加者の活動の幅が広がることを期待できます。国境を越えて、言葉や習慣、信仰や信条の違いを乗り越えて人類が一つになっていくことに寄与することが本会議の目的の一つです。(CAP2018のwebページ「世界天文コミュニケーション会議とは」より抜粋)

トピックス：天文コミュニケーションの課題、実践例、天文コミュニケーションにおけるメディアの役割他。

※参加費及び参加登録については、CAP2018 web ページにてご確認ください。

CAP2018_web サイト：<http://prc.nao.ac.jp/fukyu/cap2018/#topics>



レクチャー情報

<学融合レクチャー情報>

○学融合レクチャー「プロジェクトマネジメント概論」

プロジェクトマネジメントの基礎、大型プロジェクトの実施例について広く学び、プロジェクト運営能力や課題解決能力の向上を目指します。

日時：平成29年11月13日(月)～15日(水)

場所：宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター

単位：1単位（使用言語：日本語）

講師：長谷川義幸（元 JAXA 国際宇宙ステーションプログラムマネージャー）

担当教員：榊原悟（核融合科学専攻・教授）、松原英雄（宇宙科学専攻・教授）、稲富裕光（宇宙科学専攻・教授）、石川毅彦（宇宙科学専攻・教授）、板尾太郎（宇宙科学専攻・准教授）、宇野彰二（素粒子原子核専攻）。

申込期日：申込受付終了

申込方法：左記 URL よりご確認ください。<https://www.soken.ac.jp/event/20171113/>

●その他の基盤機関の行事

11月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
開催中- 14日(火)	10:00-17:00	開館40周年記念新着資料展示「標 交紀(しめぎ ゆきとし)の咖啡(コーヒー)の世界」 国立民族学博物館 ナビひろば	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/shimegi20170928/index
開催中- 26日(日)	09:30-16:30	くらしの植物苑特別企画「伝統の古典菊」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/project/index.html
開催中- 12月5日 (火)	10:00-17:00	開館40周年記念・カナダ建国150周年記念企画展「カナダ先住民の文化の力—過去、現在、未来」 国立民族学博物館 企画展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/canada20170907/index
開催中- 12月10日 (日)	09:30-16:30	企画展示「1968年」—無数の問いの噴出の時代— 国立歴史民俗博物館 企画展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html
開催中- 12月16日 (土)	10:00-16:30	特別展示「伊勢物語のかがやき—鉄心斎文庫の世界—」 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/isemonogatar.html
開催中— 1月8日 (月・祝)	09:30-16:30	特集展示「国立公園 今昔」	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
2日(木)	11:30-12:15	展示ギャラリートーク 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/isemonogatar.html
2日(木)	13:30-15:30	伊勢物語セミナー 国文学研究資料館 2階オリエンテーション室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/isemonogatar.html
3日(金・祝)	10:00-18:00	公開共同研究会「驚異と怪異—想像界の比較研究」 国立民族学博物館 慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/rm/iurp/15jr174_01
3日(金・祝)	10:30-16:00	三鷹キャンパスガイドツアー 国立天文台三鷹キャンパス	http://prc.nao.ac.jp/museum/einstein/

3日(金・祝)	13:00-17:00	公開フォーラム「世界の博物館2017」 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)	
3日(金・祝)	13:30-16:00	国文学研究資料館主催 平成29年度「古典の日」講演会 イイノホール	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/lecture/2017/kotennohi.html
4日(土)、5日(日)	10:00-17:00	太陽塔望遠鏡特別公開 国立天文台三鷹キャンパス	http://prc.nao.ac.jp/museum/einstein/
4日(土)	13:15-	4D2U定例公開 アストロノマー・トーク 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
4日(土)	13:30-15:30	国立民族学博物館開館・友の会発足40周年記念 みんぱく大集合 記念対談 吉田憲司 × 山極壽一「文化人類学と霊長類学—人類文化の普遍性をさぐる—」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/rm/20171104
5日(日)	13:30-16:00	みんぱく映画会 みんぱくワールドシネマー 映像から考える<人類の未来>「火の山のマリア」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movies1711
5日(日)	14:00-16:00	大エジプト博物館合同保存修復プロジェクト シンポジウム「ファラオの至宝をまもる2017」 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)	
5日(日)	14:30-15:00	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう「カザフの天幕—住居から祝祭の空間へ」 国立民族学博物館 本館展示場(中央・北アジア展示場)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/488
8日(水)	15:00-18:30	開館四十周年記念式典・祝賀会 国立民族学博物館 講堂、エントランスホール	
9日(木)– 12月26日 (火)	10:00-17:00	開館40周年記念写真展「世界のフィールドから みんぱくへ」 国立民族学博物館 本館展示場	
10日(金)	13:15-	4D2U定例公開「衝突する銀河」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
10日(金)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：天王星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
11日(土)	12:00-15:30	MMPワークショップ「点字体験ワークショップ」 国立民族学博物館 エントランスホール(本館1F)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/mmp/mmp_tenji
11日(土)	13:00-15:00	第404回歴博講演会「全共闘とは何だったのか— 歴史所蔵資料から見える世界—」国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html

11日(土)	13:15-	4D2U定例公開「衝突する銀河」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
11日(土)	13:30-16:30	研究公演「めばえる歌—民謡の伝承と創造—」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/slp/20171111mebaeru
11日(土) - 12日(日)		第41回国際日本文学研究集会 国文学研究資料館 2階大会議室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/symposium/2017/japanese_literature.html
12日(日)	14:30-15:15	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう「娯楽の場としてのコーヒーハウス— イランのガフヴェ・ハーネ」 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2F)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/489
14日(火)	14:00-16:00	第315回日文研フォーラム ハートピア京都3階大会議室	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/cal/2017/11/14/index.html
17日(金)	18:30-20:40	みんなく公開講演会「料理と人間—食から成熟社会を問いなおす」 国立民族学博物館 日経ホール(東京)	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/alp/20171117
18日(土) - 19日(日)	10:00-16:00	北大阪ミュージアムメッセ 国立民族学博物館 エントランスホール(本館1F)、特別展示館休憩所(BF)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/messe20171118-1119
18日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール「仮面の世界をさぐる— アフリカ、そしてミュージアム」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/474
18日(土)	13:30-15:30	第31回歴博映画の会「ドキュメンタリーフィルムで見る三里塚2」国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html
19日(日)	14:00- (13:30開場)	KEK科学と音楽の饗宴 第1部講演「進化論から進化学へ：進化する進化論」長谷川真理子総研大学長 第2部トークコンサート「科学と共に進化する音楽」山岸ルツ子—ピアノ— ノバホール(つくば市吾妻1-10-1)	https://www2.kek.jp/kyoen/2017/
25日(土)	13:30-15:30	第224回くらしの植物苑観察会「菊花壇しつらえのいろいろ」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/observation/index.html
25日(土)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：天王星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
26日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう「博物館の中の文化遺産、博物館の外の文化遺産」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/490
27日(月)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル— フィールドワークを語る—」 グランフロント大阪北館1階 ナレッジキャピタル「カフェラボ」	

28日(火)－ 2018年1月 28日(日)	9:30-16:30	くらしの植物苑特別企画「冬の華・サザンカ」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	
29日(水)－ 12月1日 (金)	13:30-16:45 10:30-16:00 10:00-17:00	国際シンポジウム2017「無形文化遺産をめぐる交渉」 国立民族学博物館 第4セミナー室(本館2F)	
30日(木)		ミンパク オッタ カムイノミ(みんぱくでのカムイノミ) 国立民族学博物館	
30日(木)－ 12月3日 (日)	10:00-17:00	アイヌ工芸 in みんぱく 国立民族学博物館エントランスホール(本館1F)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/workshop/ws_20171130-1203

12月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
2日(土)	13:15-	4D2U定例公開「中性子星連星の合体」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
3日(日)	10:00-16:00	MMPワークショップ やってみよう!「ミラー刺繍 2017」 国立民族学博物館 エントランスホール(本館1F)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/mmp/20171203sisyuu
3日(日)	14:30-15:15	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「カナダ先住民の文化のカー過去、現在、未来」 国立民族学博物館 本館企画展示場	
7日(木)	11:30-12:15	展示ギャラリートーク 国文学研究資料館 展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/isemonogatar.html
8日(金)	13:15-	4D2U定例公開「中性子星連星の合体」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
8日(金)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体: アンドロメダ座γ星アルマク(二重星)> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
9日(土)	12:00-15:30	MMPワークショップ「点字体験ワークショップ」 国立民族学博物館 エントランスホール(本館1F)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/mmp/mmp_tenji
9日(土)	13:00-15:00	第405回歴博講演会「身体から眺める教育の歴史」 国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
9日(土)	13:15-	4D2U定例公開「中性子星連星の合体」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
10日(日)	14:30-	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館	

12日(火)	18:30-20:30	第316回日文研フォーラム ハートピア京都3階大会議室	
13日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル— フィールドワークを語る—」 グランフロント大阪北館1階 ナレッジキャピ タル「カフェラボ」	
14日(木)– 2018年1月 30日(火)	10:00-17:00	年末年始展示イベント「いぬ」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろ ば)	
16日(土)	13:15-	4D2U定例公開「中性子星連星の合体」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
16日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール「オラン・アスリの家族 —母系制・妻方居住・一夫多妻」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/475
16日(土)	13:30-15:30	第225回くらしの植物苑観察会「サザンカの花 色と花形」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	
17日(日)	14:30-	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう 国立民族学博物館	
20日(水)	19:00-20:30	連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル— フィールドワークを語る—」 グランフロント大阪北館1階 ナレッジキャピ タル「カフェラボ」	
23日(金)	18:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体:M37 (ぎょしゃ座にある散開星団)> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
24日(日)	14:30-	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう 国立民族学博物館	



【広報社会連携室から】

○総研大公式 Facebook の開設について

この度、広報社会連携室では「総研大公式 Facebook」を開設いたしました。情報発信ツールとして、総研大、専攻を設置する各基盤機関等の大学院説明会等のイベント、最新情報について、お知らせしますので、フォローをお願いいたします。

[総合研究大学院大学公式 Facebook] <https://www.facebook.com/SOKENDAI/>

○総研大は、来年 2018 年に創立 30 周年を迎えます。

10 月 1 日の創立記念日を中心に、式典の開催、修了生による講演会、ロゴ・スローガン・キャラクターの作成、寄付口座の開設及びホームカミングデーの開催などを考えています。これらにつきご意見のある方、また、これら以外のアイデアのある方は、30 周年事業担当の 田村学長補佐 (katsumi_tamura@socket.ac.jp)、あるいは、広報社会連携室 (kouhou1@m1.socket.ac.jp) まで、ご意見をお寄せください。

○神奈川新聞コラムページをリニューアルしました。

神奈川新聞掲載コラムページをリニューアルしました!このページでは、2016 年 6 月から 2017

年5月まで全24回にわたり神奈川新聞で連載した「総研大発 最先端の現場」のコラム記事を掲載しております。なお、掲載時から一部加筆・修正(写真の差替え)しておりますことをご承知おきください。

新聞コラム：<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/column/>

-メディア・イベント出演情報-

○長谷川学長のコラム「時代の風」が毎日新聞にて連載中です。

長谷川学長は2016年4月から、毎日新聞に「時代の風」というコラムを連載(6週間に1回)しています。紙面に掲載された連載記事の内容は、本学HPからも読むことができますので、ご興味のある方はご一読下さい。(11月1日(水)現在、第14回目(毎日新聞10月8日掲載分)までご覧いただけます。)本学HPのトップ画面の「学長通信」のバナーからぜひご覧下さい。

— 時代の風 (毎日新聞掲載コラム) —

https://www.soken.ac.jp/outline/message_index/hasegawa_mariko/kaze/

○プレスリリース研究が多くメディアに照会されました。

8月25日にプレスリリースを行いました「明らかにになった幻の流星群の構造と親天体の活動度～第1次南極地域観測隊の発見から58年ぶりの観測」(極域科学専攻 藤原康徳氏ほか)が下記を含め多くのメディアで紹介されました。

毎日新聞(2017年10月12日)「ほうき星の様子明らかに」

○広報特派員の募集について

広報社会連携室では、広報特派員を募集しております。総研大の広報活動にご協力いただける学生さんの応募をお待ちしております。

詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/information/corres/>



【編集後記】

総研大ニューズレター第112号をお届けします!! 冬の寒さがやってきましたね。皆様、いかがお過ごしでしょうか?

私ごとで大変恐縮なのですが、11月1日より人事異動で広報社会連携室から人事異動することになりました。入職してから最初に配属された部署が広報社会連携室でした。総研大ニューズレター作成担当になり、学内広報としてニューズレターの内容を活用していただけるよう、掲載情報やレイアウトを自分なりに考え作成してきました。気がつけば、配属されてから約1年7ヶ月近く経っておりました。その間、多くの先輩方に助けていただきました(ニューズレターの誤字脱字など、ご指摘いただきありがとうございます)。

ニューズレターの作成にあたり、ご協力いただきました各専攻事務のご担当者様、広報連絡会の皆様、原稿を執筆いただきました先生方、誠にありがとうございました。

これからも、総研大広報をよろしく願いいたします。

大学広報業務からは外れますが、今までとは違う形で総研大広報に協力していきたいと思っております!!

NLへ原稿掲載の依頼がありますと、作成側としてはとてもうれしいです。イベント・レクチャーなどがありましたら、NLへの寄稿をお願いいたします!

広報社会連携室 E・A

広報社会連携室では、メディアを通じて総研大の研究成果を広く社会に発信しています。特に、総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻（基盤機関）との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニューズレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報を是非お寄せください。

研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、「総合研究大学院大学」と表記いただきますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします

発行 2017年11月1日
編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

広報社会連携室

TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632

Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp

※(at)は@に変換してください。

©2017SOKENDAI